

認知症ってどんな病気？

認知症は、様々な原因によって、脳の神経細胞が死んだり、働きが悪くなってしまったために、生活に支障をきたしてしまう脳の『病気』です。

認知症になると何も分からなくなるのではなく、できることもたくさんあります。症状は、人それぞれ違いますので、その人に合わせた対応が必要になります。

認知症を正しく理解することで、介護の負担の軽減につながります。

ぜひこのパンフレットを
参考にしてみてください



もの忘れ看護相談外来 開設のお知らせ

当院では、日頃の暮らしの中で認知症や認知機能低下によって、生活のしづらさがある方やその家族の問題を一緒に考え、解決のお手伝いをするため、もの忘れ看護相談外来を開設しました。

担当者

第1・3木曜日 13:00~16:00	坂本真一郎認知症 看護認定看護師
第2・4木曜日 13:00~16:00	北原こゆき認知症 看護認定看護師

☆気軽にご相談ください

独立行政法人
国立病院機構菊池病院
住所：〒861-1116
熊本県合志市福原 208

☎ 096-248-2111

幻視

～原因と対応について～



幻視って何？

脳の一部が障害され、実際にはないものがリアルに「見えている」状態です。

幻視で最も多いのは、「人」です。ぼんやりではなく、「半ズボンの少年」や「髪の長い若い女性」など、具体的でリアルな人物がみえているのが特徴です。



レビー小体型認知症の人に多くみられる

幻視がある認知症者は どんな気持ち???

何でみんなには見えないんだ！そこにはっきりいるじゃないか！

- ほらそこにはっきり見えている
- とても「幻」とは思えないよ
- 何度もやってくるのは、何か理由があるんだろうか
- 怖い。不安だ



みんな私が言うことを信じてくれない。



どのように関われば いいの？

「何も見えない」と
言って否定をしない

何がみえているのか、追求する必要はありませんが、それが不快や恐怖があるのか確認を行いましょう。怖いのであるならそばに寄り添いましょう。

